

丸の内会場
+ オンライン
同時開催！財務報告に関する内部統制の実効性の向上に向けて
～内部統制報告制度の基準・実施基準の改訂～

日時

2023年6月5日(月) 11:30～13:30 (受付開始 11:15)

※ オンラインは 11:50 開始となります。後日の録画配信も予定しております。

会場

AP 東京丸の内 (東京都千代田区丸の内 1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3階)

参加費

会場参加
(昼食付き)

:会員 3,000 円 / 一般 6,000 円 (税込・当日、会場にてお支払いください)

オンライン

:会員 2,000 円 / 一般 3,000 円 (税込・オンライン決済でお支払いください)

2008年の運用開始以来、内部統制報告制度(JSOX)は、我が国に内部統制の概念や仕組みを根付かせる上で、重要な役割を果たしてきました。しかし足元では内部統制報告書提出後に訂正報告書が頻出するなど、その主旨を見失い、制度対応自体を目的化するような傾向も目立ち始め、形骸化リスクが懸念されてきました。

本来、内部統制は与えられるものではなく、持続的成長と価値創造のために、各企業の自主的な創意工夫のもとに整備・運用されるべきものです。この度の改訂は、同制度が目指す姿に立ち返るための契機となることが期待されます。

本勉強会では改訂の主旨を踏まえ、コーポレートガバナンスやリスクマネジメント、更には価値創造における内部統制の役割を再確認していきます。また、改訂に伴い内部統制部会にて議論された、会社法と金融商品取引法における内部統制の統合可能性を視野に、財務情報のみならず、非財務情報の信頼性に対する同制度の拡張性についても考察していきたいと思っております。是非ご参加ください。

講師

齊藤 貴文 (さいとう たかふみ) 氏

金融庁 企画市場局 企業開示課 開示業務室長



2003年から金融庁で勤務。国際交渉や金融機関のモニタリングなどの業務経験を経て、2023年7月から現職。東京大学経済学部卒業、ロンドン・ビジネス・スクール及びロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで金融修士号取得。

今後の勉強会予定

第144回 【題目】 モニタリングボードの課題と将来(仮題)
7月4日(火) 【講師】 山田英司氏(株式会社日本総合研究所 理事)

※8月は夏休みのため休会となります。

第145回 【題目】 英国におけるコーポレートガバナンス改革の動向(仮題)
9月21日(木) 【講師】 山口峰男氏(PwC あらた基礎研究所 所長)

お申込み

会場・オンラインそれぞれお申し込み方法が異なります。詳細はご案内メールにてご確認ください。
メールが届かない方は下記までご連絡ください。

[お問合せ先] 実践コーポレートガバナンス研究会 セミナー事務局 seminar@icgj.org

